

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

外交問題が騒がしくなっています。

まず、韓国との「徴用工」や「レーダー照射」の問題については、明らかに向こう側の対応はおかしい。徴用工のような補償問題は、「日韓請求協定」で解決済みです。文句があるなら、この協定に基づいて、最終的には国際司法裁判所に持ち込めばよく、我が国は一切妥協する必要はありません。「レーダー照射」も韓国側の主張は根拠が薄く、政府の主張が正しい。

より本質的には、韓国がこれまでのように日米と連携していくのか、見極めるべきです。韓国の国防白書では、2年前の「韓日両国は自由民主主義と市場経済の基本的価値を共有している」という表現が削除されています。また、韓国の軍隊が交流すべき国の順序も、以前の白書では「日本、中国、ロシア」の順だったのが、今回は「中国、日本、ロシア」と変更されています。

これは一時的な感情なのか。それとも中国にすり寄っていかうとしているのか。我が国としては、ここを慎重に見極めて、場合によっては、外交方針を大きく変えなければいけないかもしれません。

一方で、北方領土をめぐる日露が交渉していますが、プーチン大統領は交渉直前の3年前に国後・択捉にミサイルを配備しています。不誠実きわまりない態度です。「国後・択捉は後回しにすればよい」という優等生の主張もあります。しかし、ミサイルを配備されても、交渉しつづけることは、この2島について諦めたと受け取られます。政府の方針は4島返還だったのではないのでしょうか。

北方領土の解決を急ぐ必要はまったくありません。

我が国の最優先課題は、中国と北朝鮮に対して抑止力を強化することです。このために、もしロシアが日本と連携するのであれば、議論の余地はあるかもしれませんが。しかし、これまでトランプ大統領がロシアにいくら譲歩しても、プーチン大統領はいっさい米国に配慮しません。米国にさえ協力しないプーチン大統領に対し、甘い期待は捨てるべきです。

いずれにせよ、「我が国にとって、脅威となっているのは韓国・ロシアよりも、断然、中国と北朝鮮である」という大局を忘れてはなりません。